



れが文化なのか個人差なのかはわからないけど、とにかくエネルギーを感じました。印象的だったのは、インドネシアのバジャウ族。海の上で生活する人たちで、いつもみんな穏やかで笑顔なんです。「どういふときが幸せって感じる？」って聞いたたら、「意味がわからない」って答えるんですよ。幸せや不幸の概念がなくて、「今日は魚が家族分獲れたからよかったね」「獲れなかったら明日また獲ろう」ってそんなふうにしてその日を笑顔で生きているんで

す。人と比べない、自分たちの尺度で生きている姿がカッコよかったです。家族や幸せのかたちって、本当に国や人によって全然違うんだなって実感しました。

みやぞんさんのお母様も、とてもパワフルな方だとか。

うちの母ちゃんは、すごいですよ。とにかく明るくて元気、パワフル。工業高校出身で、クラスに女性はお母ちゃんだけだったそうです。昔はテレビも自分で直したって言っていました。「絶対に金稼ぐ！」って決めて、家を飛び出して東京に出てきたそうです。とにかくエネルギーギッシユな心で動く人です。うちの家庭はお父さんがいなくて、僕は4人の姉ちゃんがいる末っ子長男。貧乏だったけど、「うちの家族が一番！」って本気で思ってい



ました。それくらい、あたたかくて、仲良くて、支え合っていました。

母ちゃんはテストの点なんて気にしません。「笑顔でいりゃいいのよ」「あんたなら大丈夫」って言うてくれていました。だから劣等感なんて感じたことがなかったです。母ちゃんのくれた言葉と愛情が、今の僕の自信の根っこにあるんだと思います。何かに挑戦するときには、「自分ならできる」って思うし、そうしてみたら意外とできちゃうものです。だから、自分を信じるって本当に大事なんだなって思えます。考えるより、直感。最初

にピンときたものがたいてい正解なんですよ。人と比べる必要なんてないし、自分の幸せは自分で決めていい。それでいいんだと思います。

みやぞんさんが大切にしていることは？

テレビで僕を見て、少しでも心が軽くなったり、前向きな気持ちになってくれたらという気持ちでやっています。僕がかつてジャッキー・チェンから勇気をもらえたように、「なんか元気出たな」って思ってもらえたら嬉しいです。

僕は、目の前に起こることには全部意味があると思っているんです。自分が成長しないものが目の前に現れるとは思っていません。必ず意味があつて、諦めたとしても必ず良い結果になるし、もし乗り越えられたなら、人に勇気を与えるよう

なことができるんだと思っています。

だから、僕は「楽しんで乗り越える」ことを大事にしています。思い通りにいかないことや、人からいろいろ言われることも出てくるけど、どうやって自分が楽しくなるかを考えるのが大事。人と比べる必要なんてない。僕は英語が全然しゃべれないんだけど平気です。だってしゃべれる人と一緒に行けばいいだけです。人の評価や周囲の声に無理に合わせする必要なんてなくて、「自分がどうしたいか」を、自分の感覚で決める。自分を信じて笑顔で楽しく生きていくことを大切にしたいんです。たった一度の人生、自分らしく生きなきゃ、もったいないですよ。

